

議案第99号  
令和3年度宝塚市下水道事業会計決算認定について

## 資料2 主な項目の増減理由

### 1 業務量

	項目	前年度増減	主な増減理由
①	年間有収水量	△ 286,139 m <sup>3</sup>	前年から1.2%減少しており、供用開始区域内人口の減少率0.5%以上に減少しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により在宅勤務や手洗いうがい等が増加し、一般家庭用の使用水量が増加しましたが、令和3年度はそれらが落ち着いたため、一般家庭用の使用水量が減少したと考えています。

### 2 収益的収入及び支出

	項目	前年度増減	主な増減理由
①	収益 営業収益 下水道使用料	198,430 千円	令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大による下水道基本使用料の減免（219,455千円）を実施したため令和3年度は前年比で増加しています。減免がなかったと仮定した場合は、前年比21,025千円の減少です。
②	収益 営業収益 雨水処理負担金	△ 20,253 千円	雨水施設に係る企業債残高の減少により、償還元金や支払利息が減少傾向にあるため、前年比で減少しています。
③	収益 営業外収益 他会計補助金	△ 380,036 千円	令和2年度は「資本費の44%」の一般会計繰入金を受け取っていましたが、令和3年度は「総収益と総費用が均衡する額」まで引き下げられたため、前年比で大きく減少しています。
④	費用 営業費用 人件費	△ 23,655 千円	前年比で減少した主な原因は、正規職員が1名減少したためです。
⑤	費用 営業費用 流域下水道維持 管理負担金	108,311 千円	武庫川下流域において、浄化センターの老朽化により修繕費等が増加したため、構成市（尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市）の負担金が増加したことが主な原因です。
⑥	費用 営業外費用 支払利息	△ 56,319 千円	企業債残高の減少により、支払利息は減少傾向にあります。
⑦	当年度純利益	△ 239,675 千円	令和3年度の他会計補助金は「総収益と総費用が均衡する額」まで引き下げられたため、当年度純利益はゼロとなり、前年比で大きく減少しています。

### 3 資本的収入及び支出

	項目	前年度増減	主な増減理由
①	支出 企業債償還金	△ 116,543 千円	企業債残高の減少により、企業債償還金は減少傾向にあります。

### 4 汚水処理原価と下水道使用料単価

	項目	前年度増減	主な増減理由
①	汚水処理原価	3.9 円	流域下水道維持管理負担金の増加や支払利息の減少などの結果として、汚水に係る総費用が増加したため、令和3年度は前年比で増加しています。
②	下水道使用料単価	9.5 円	令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大による下水道基本使用料の減免（219,455千円）を実施したため、令和3年度は前年比で増加しています。